

2025年度授業アンケート -古典探究3年次-



市立札幌藻岩高等学校 対馬光揮

1.背景

各教科が繋がりを持って探究的な学びを実現させるために、共通の目標を設定し、全教科で統一して実施できる授業アンケートを考案したい。

2.共通の目標

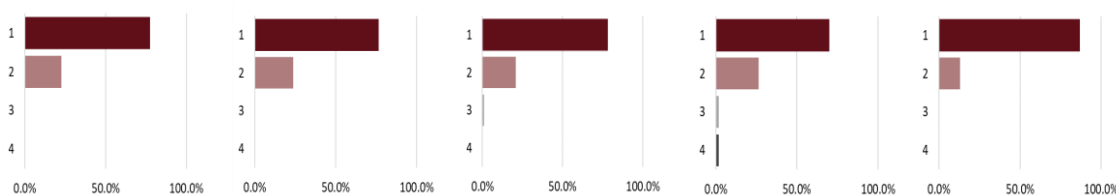
- a. 主体的な学び b. 協働的な学び c. 知識技能の向上 d. 思考力の育成 e. 表現力の育成
- f. 視野の広がり g. 日常や社会への波及 h. 安心安全な土壌 i. 個性や強み j. 試行錯誤
- k. 粘り強い思考 l. 探究的な学び（「考える技法」を援用） m. グラデュエーション・ポリシー

3.方向性

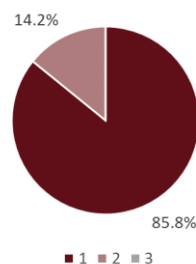
- a. 生徒が教員を評価するものではなく、生徒が授業をどのように捉えたのかを知り、授業改善に活かすことができるアンケートとして実施したい。
- b. 授業を振り返ることで生徒自身が学習を内省するものにしたい。

4.実施報告(106名)

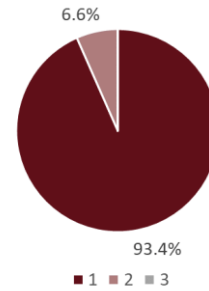
グラデュエーション ポリシー	ことばの力		やり抜く力		思い浮かべる力		試そうとする力		考える力	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1.身に付いた	82	77.4%	81	76.4%	83	78.3%	74	69.8%	92	86.8%
2.どちらかといえば、身に付いた	24	22.6%	25	23.6%	22	20.8%	28	26.4%	14	13.2%
3.どちらかといえば、身に付かなかった	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%	2	1.9%	0	0.0%
4.身に付かなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.9%	0	0.0%



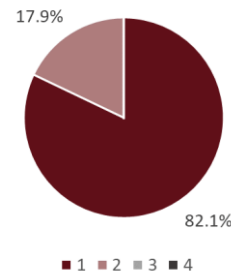
A.主体的な学習について	人数	%
1.授業を通して湧き上がってくる疑問や関心を軸にして、生徒自らが主体的に学習に取り組もうとする授業だった。	91	85.8%
2.疑問や関心が湧き上がってくることは少なかったが、与えられた課題については積極的に取り組もうとする授業だった。	15	14.2%
3.与えられたものをこなすだけの一方的な授業だった。	0	0.0%



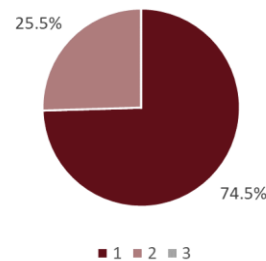
B.協働的な学習について	人数	%
1.他者と協働することによって、自分ひとりでは気づくことができないような発見や価値観に触れることができ、他者と協働して勉強することの意味を感じられる授業だった。	99	93.4%
2. 他者と交流することはあったが、それによって思考が深まることはあまりなく、他者と協働して勉強することの意味を実感できない授業だった。	7	6.6%
3.個人で取り組むことがほとんどで、他者と交流することは少ない授業だった。	0	0.0%



C.読解や記述など、知識・技能の向上について	人数	%
1.知識(その教科に関する知識理解)・技能(獲得した知識を活用する力)の向上に繋がった。	87	82.1%
2.どちらかといえば、知識・技能の向上に繋がった。	19	17.9%
3.どちらかといえば、知識・技能の向上に繋がらなかった。	0	0.0%
4.知識・技能の向上に繋がらなかった。	0	0.0%



D.思考の深化と視野の広がりについて	人数	%
1.様々な視点から思考を深めたり、視野を広げるきっかけになり、学んだことが他教科や日常生活に繋がることがあった。	79	74.5%
2.学んだことが他教科や日常生活に繋がることはなかったが、様々な視点から思考を深めたり、視野を広げるきっかけになった。	27	25.5%
3.新たな情報や知識が伝達される授業ではあったが、思考が深まったり視野が広がることはなかった。	0	0.0%



Dで1を回答した生徒→どのような場面で他教科や日常生活への繋がりを感じましたか。(ChatGPTで要約)

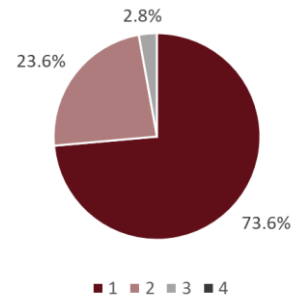
1	<p>他教科との明確な接続を実感</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇百人一首や和歌の英訳を通した英語との接続 ◇古典作品の時代背景・思想を日本史・倫理で再認識 ◇漢文(論語・韓非子・法家思想)と倫理・政治思想との関連 ✦英語では正確さが求められるが、国語では表現の幅を考えられた ✦倫理で出てきた思想家が漢文に登場して理解が深まった ✦歴史の出来事が“文面上の知識”から“人の思想”として理解できた <p>➔単なる知識の横断ではなく、教科ごとの“ものの見方の違い”を自覚した点が特徴的。</p>
2	<p>英語×古典(百人一首英訳)による思考の深化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇直訳ではなく「意味・余情・文化」をどう表すか考える力 ◇同じ和歌でも訳が人によって異なることへの気づき ◇日本語・英語それぞれの言語特性の理解 ✦語彙力・英文解釈力の向上 ✦英語長文での心情把握が容易になった ✦「正解が一つではない」学びへの価値転換 <p>➔言語活動を通じて、思考の多様性・相対性を体感的に学んでいる。</p>
3	<p>批判的思考・多角的視点の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇漢文(法家思想・侵官之害)を通じた批判的思考 ◇ニュース・SNS・噂話を鵜呑みにしない姿勢 ◇「一度立ち止まって考える」態度の定着

	<p>朝のニュースの見方が変わった</p> <p>フェイク情報や偏った意見を疑えるようになった</p> <p>他人と意見が違うことを前向きに捉えられるようになった</p> <p>→古典が「現代社会を生きるための思考訓練」になっている点が顕著。</p>
4	<p>歴史的価値観・人間観への理解と自己省察</p> <p>◇昔の人の価値観が「意外と現代と共通している」ことへの驚き</p> <p>◇恋愛観・人生観・人間関係の普遍性への気づき</p> <p>◇自分自身の考え方・生き方を見直す契機</p> <p>「昔の人＝全く違う存在」という固定観念が崩れた</p> <p>現代にも通じる思想(論語など)が心に残った</p> <p>自分の選択肢や考えの幅が増えた</p> <p>→古典が“過去の知識”ではなく、“今を照らす鏡”として機能している。</p>
5	<p>探究型・協働的学習による視野の拡張</p> <p>◇探究テーマ設定・発表・資料作成</p> <p>◇グループ活動・意見交換・他者の発表を聞く経験</p> <p>自分にはない視点を知る経験</p> <p>全く関係なさそうな分野を結びつける発想力</p> <p>構造的思考(具体⇄抽象の往復)</p> <p>→学習方法そのものが、他教科・将来・人生に接続している。</p>
6	<p>学習スキルの汎用化(読解・表現・構造理解)</p> <p>◇英語・他教科での文章読解力向上</p> <p>◇主語述語・キーワード意識</p> <p>◇プレゼン・小論文・面接への応用</p> <p>→「古典＝暗記科目」という認識からの脱却が見られる。</p>
7	<p>日常・文化・娯楽との接続</p> <p>◇ドラマ・アニメ・漫画・ラップ制作</p> <p>◇会話に古文単語が出てくる</p> <p>◇テレビやニュースで教材を思い出す</p> <p>→学びが教室外に自然に拡張している証拠。</p>
総評	<p>今回の記述から明確に読み取れるのは、古典探究の授業が「知識理解」ではなく「思考の型」を育てる学びとして成立しているという点です。</p> <p>特に、「英語との教科横断による言語・文化の相対化」「漢文・思想を通した批判的思考の育成」「探究・協働による視点の多様化」が相互に作用し、生徒は「教科は分断されていない」「正解は一つではない」「過去は今とつながっている」という認識に到達しています。</p> <p>多くの生徒が「学ぶ意味への納得」「思考することの楽しさ」「将来や社会への接続」を自分の言葉で語っており、古典探究の到達目標である「思考の深化と視野の広がり」は、非常に高いレベルで達成されていると評価できます。</p>

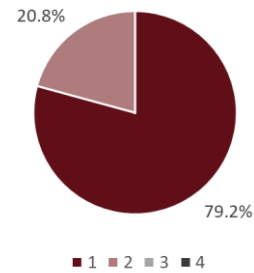
Dで2を回答した生徒→どのような場面で思考の深化や視野の広がりを感じましたか。(ChatGPTで要約)

1	昔の価値観・他者の考えに触れることによる視野の拡張
2	和歌・百人一首を多面的に解釈する過程での思考の深化
3	英訳・比較を通した視点の複線
4	歴史的背景・人物関係を踏まえた立体的読解
5	意見文・思想学習を通した思考の深まり
6	他者との対話・共有による視点の多様化
7	読解力・学習姿勢の変化としての「思考の深化」
総評	<p>②を選択した生徒の回答からは、他教科や日常生活への明確な転用には至っていないものの、古典の学習内部で確かな思考の変容が起きていることが読み取れます。</p> <p>特に、「昔の価値観に触れることで自分の前提が揺さぶられたこと」「和歌や思想を多面的に解釈する経験」「他者の考えを通して自分の見方を相対化したこと」など、これらはすべて、「視野が広がる前段階としての思考の深化」にあたります。</p> <p>また、「楽しみとして古典を捉え直した」「自分で調べ、考え、表現することの面白さに気づいた」という声は、今後①の段階(他教科・日常への接続)へ発展する芽がすでに育っていることを示しています。</p> <p>①を選んだ生徒と比べると、接続の「射程」は内側にとどまっているが、思考の「質」は確実に深まっている——それが②を選択した生徒層の特徴であり、古典探究の重要な成果だと言えるでしょう。</p>

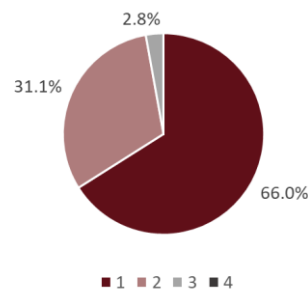
E.表現について	人数	%
1.自分の考えを表現する機会が多い授業だった。	78	73.6%
2.どちらかといえば自分の考えを表現する機会がある授業だった。	25	23.6%
3.どちらかといえば自分の考えを表現する機会が少ない授業だった。	3	2.8%
4.自分の考えを表現する機会がほとんどない授業だった。	0	0.0%



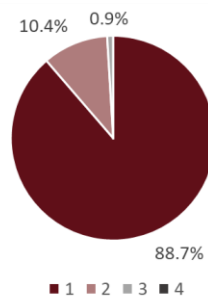
F.安心安全な土壌について	人数	%
1.分からないことを聞けたり、自分の考えを安心して言えるなど、安心安全な空気感のある授業だった。	84	79.2%
2.どちらかといえば、安心安全な空気感のある授業だった。	22	20.8%
3.どちらかといえば、安心安全な空気感のある授業ではなかった。	0	0.0%
4.安心安全な空気感のある授業ではなかった。	0	0.0%



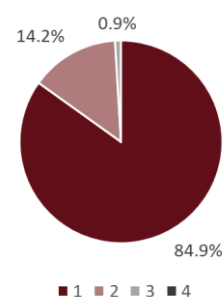
G.自分の個性や強みを活かせるような授業でしたか	人数	%
1.そう思う	70	66.0%
2.どちらかといえば、そう思う	33	31.1%
3.どちらかといえば、そう思わない	3	2.8%
4.思わない	0	0.0%



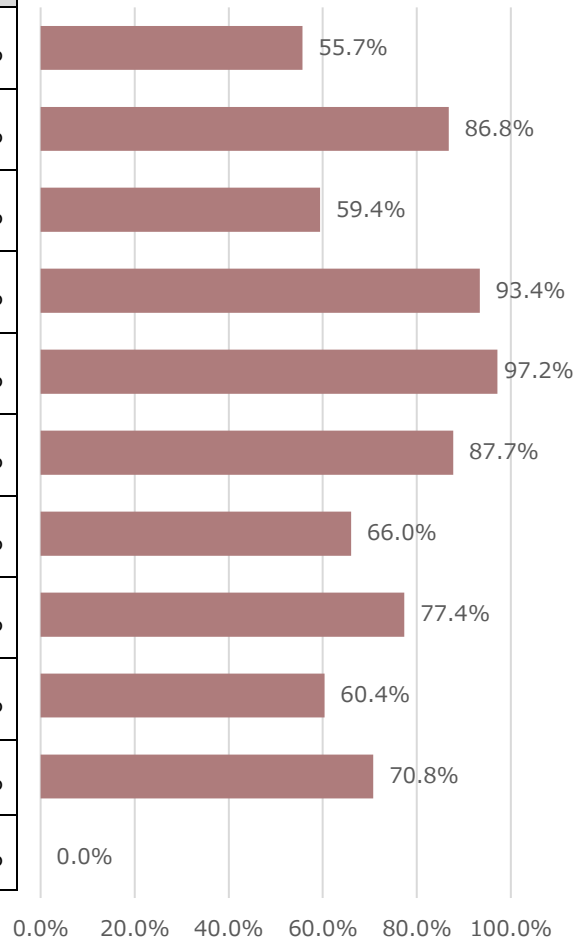
H.試行錯誤するような授業でしたか	人数	%
1.そう思う	94	88.7%
2.どちらかといえば、そう思う	11	10.4%
3.どちらかといえば、そう思わない	1	0.9%
4.思わない	0	0.0%



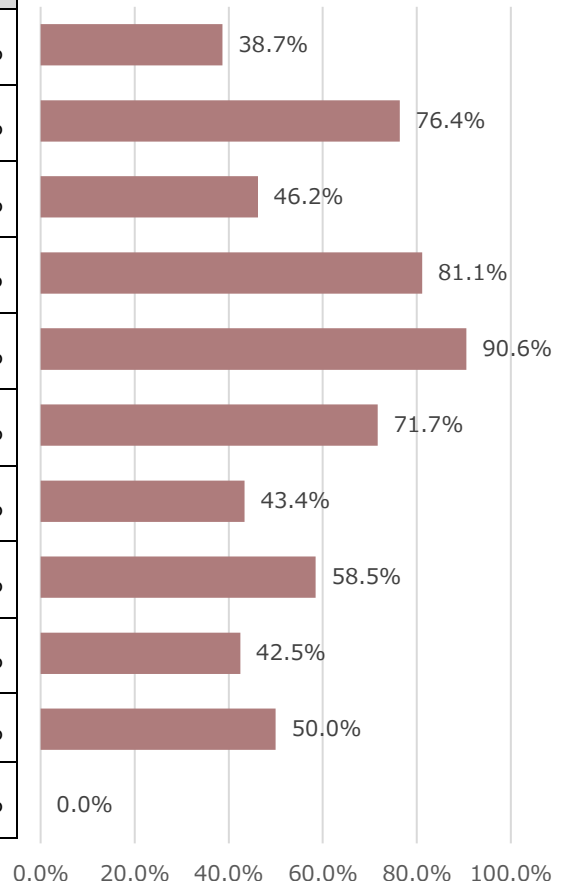
I.すぐに答えが出るようなものではなく、多様な見方や考え方があることを想定して、考え続けるような授業でしたか	人数	%
1.そう思う	90	84.9%
2.どちらかといえば、そう思う	15	14.2%
3.どちらかといえば、そう思わない	1	0.9%
4.思わない	0	0.0%



J.求められた力(複数回答可)	人数	%
1.順序付ける(複数の対象について、ある視点や条件に沿って対象を並び替える。)	59	55.7%
2.比較する(複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする。)	92	86.8%
3.分類する(複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる。)	63	59.4%
4.関連付ける(複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける。)	99	93.4%
5.多面的に見る・多角的に見る(対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする。)	103	97.2%
6.理由付ける・原因や根拠を見付ける(対象の理由や原因、根拠を見付けたり予想したりする。)	93	87.7%
7.見通す・結果を予想する(見通しを立てる。物事の結果を予想する。)	70	66.0%
8.具体化する・個別化する・分解する(上位概念に当てはまる具体例を挙げたり、下位概念や要素に分けたりする。)	82	77.4%
9.抽象化する・一般化する・統合する(上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめたりする。)	64	60.4%
10.構造化する(考えを構造的に整理する。)	75	70.8%
11.該当するものはない	0	0.0%



K.身に付いた力(複数回答可)	人数	%
1.順序付ける(複数の対象について、ある視点や条件に沿って対象を並び替える。)	41	38.7%
2.比較する(複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする。)	81	76.4%
3.分類する(複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる。)	49	46.2%
4.関連付ける(複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける。)	86	81.1%
5.多面的に見る・多角的に見る(対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする。)	96	90.6%
6.理由付ける・原因や根拠を見付ける(対象の理由や原因、根拠を見付けたり予想したりする。)	76	71.7%
7.見通す・結果を予想する(見通しを立てる。物事の結果を予想する。)	46	43.4%
8.具体化する・個別化する・分解する(上位概念に当てはまる具体例を挙げたり、下位概念や要素に分けたりする。)	62	58.5%
9.抽象化する・一般化する・統合する(上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめたりする。)	45	42.5%
10.構造化する(考えを構造的に整理する。)	53	50.0%
11.該当するものはない	0	0.0%



Ⅱ.この授業であなたが「学び」を実感した時はいつでしたか。また、その時に何を感じましたか。(ChatGPT で要約)

1	<p>成績向上・問題演習を通しての「学び」の実感</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇授業で学んだ解き方・文法・古文常識が模試や共通テストで活かされ、高得点につながった ◇繰り返し演習する中で、以前よりスムーズに読めるようになった ◇得点の伸びや、できなかった問題が解けるようになったことで成長を実感 ◇根拠をもって選択肢を判断できるようになった <p>→「学び=成果として見える」経験が、達成感や自信につながっている。</p>
2	<p>基礎知識(単語・文法・背景知識)の定着による理解の深化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇古文単語や文法が身につく、作品内容を理解できるようになった ◇背景知識を知ることで、文章が立体的に読めるようになった ◇基礎の積み重ねが、読解や他教科(日本史など)にも活きた ◇「基礎基本の大切さ」を実感したという声が多い <p>→知識が「点」から「意味のある理解」に変わった瞬間に学びを実感。</p>
3	<p>百人一首・和歌の英訳を通した深い学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇英訳することで、和歌の情景・感情・余韻を深く考える必要があった ◇直訳ではなく、背景や作者の意図を踏まえて表現を工夫した ◇人によって訳や解釈が異なることに気づき、古典の面白さを実感 ◇日本語の美しさ・曖昧さ・余韻を再認識 ◇英語と古典のつながりを感じ、教科横断的な学びを実感 <p>→「古典=遠いもの」という意識が、「考えて楽しむもの」へ転換した経験。</p>
4	<p>他者との対話・意見交流による学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自分にはなかった視点や解釈に触れて思考が広がった ◇同じ文章でも感じ方が違うことに気づいた ◇自分が多数派・少数派だと思い込んでいたことへの気づき ◇意見を言葉にして説明することで理解が深まった <p>→学びは一人で完結せず、他者との関係の中で深化すると実感。</p>
5	<p>探究型学習・発表・レポート作成を通した学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇見通しを立てて調べ、まとめ、発表する過程そのものが学び ◇自分の興味・将来・他分野と古典を結びつけた探究 ◇スライド構成、文章構成、時間管理などのスキル向上 ◇成果物完成後の振り返りで成長を実感 <p>→「やらされる学習」から「自分で進める学習」への変化が見られる。</p>
6	<p>多角的・批判的思考の獲得(特に法家思想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇法家思想を通して、価値観が一つではないと気づいた ◇批判=否定ではなく、視点を広げる行為だと理解 ◇当時の背景を踏まえて考える重要性を実感 ◇現代社会や政治、漫画(キングダム)などとの接続 <p>→「考えを疑い、広げる力」が育っている。</p>
7	<p>日常生活・他教科とのつながりの発見</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇日常で見聞きした言葉や考え方と古典が結びついた ◇英語・日本史・現代社会など、他教科との関連 ◇「今と昔はつながっている」という実感 ◇学んだことを生活の中で思い出せた瞬間 <p>→学びが「教室内」に閉じず、生活へ広がっている。</p>
8	<p>学習観の変化・自己成長の実感</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇古典への苦手意識・嫌悪感が薄れた ◇疑問を持ち、調べる姿勢が身についた ◇文章力・思考力・表現力の成長を実感 ◇「学び続けること」「探究し続けること」の意味を理解 <p>→学びを通して「自分自身が変わった」感覚が多く語られている。</p>
総評	<p>生徒の回答から浮かび上がる最大の特徴は、「古典が、知識科目から“考える教科”へと変化した」という点です。特に百人一首の英訳、探究型学習、意見交流を通して、「正解が一つではないこと」「他者の考えが自分の思考を豊かにすること」「知識は使ってこそ意味をもつこと」「昔と今、自分と社会がつながっていること」を多くの生徒が実感しています。また、「点数が取れるようになった」ことと「学ぶことが面白いと感じられるようになった」ことが両立している点も非常に特徴的です。これらの回答は、この授業が「学力」「思考力」「表現力」「協働力」「学び続ける姿勢」を総合的に育ててきたことを強く示しています。「古典を通して、生き方や考え方を学んだ」——それが、生徒たちに共通する学びの実感だと言えるでしょう。</p>

M.あなたにとって「古典探究を学ぶ意味」とはどのようなものだと思いますか。(ChatGPT で要約)

1	<p>過去と現在を比較し、価値観の共通点・相違点を知るため</p> <p>◇昔と今の考え方・文化・習慣を比較することで、変わったもの／変わらないものに気づける</p> <p>◇現代の「当たり前」が絶対ではないと理解できる</p> <p>◇時代背景を踏まえて考えることで、現代社会を相対化できる</p> <p>◇過去と現在の連続性を理解することで、社会の成り立ちが見えてくる</p> <p>➡古典は「今」を客観視するための比較材料として捉えられている。</p>
2	<p>多様な価値観・考え方に触れ、視野を広げるため</p> <p>◇自分とは異なる思想・美意識・人生観を知ることができる</p> <p>◇多面的・多角的に物事を考える力が身につく</p> <p>◇他者の解釈や感じ方の違いを受け入れられるようになる</p> <p>◇思考の幅・想像力が広がる</p> <p>➡古典は視野拡張のための装置として認識されている。</p>
3	<p>人生の教訓・生き方のヒントを得るため</p> <p>◇先人の成功や失敗から学べる</p> <p>◇生き方・判断・価値選択の参考になる</p> <p>◇自分の人生を見つめ直す「道しるべ」になる</p> <p>◇困難な時代を生きた人々の言葉が支えや勇気になる</p> <p>➡古典は「人生の参考書」「疑似人生体験」として受け取られている。</p>
4	<p>思考力・批判的思考・比較する力を養うため</p> <p>◇正解が一つではない文章を考え抜く力が育つ</p> <p>◇昔の思想を現代に当てはめて検討する力</p> <p>◇「これは本当に正しいのか」と疑う視点</p> <p>◇推測力・読解力・論理的思考力の向上</p> <p>➡古典は思考訓練の場として機能している。</p>
5	<p>言葉・表現・日本語の感性を磨くため</p> <p>◇言葉の背景や成り立ちを理解できる</p> <p>◇現代語では失われがちなニュアンスを感じ取れる</p> <p>◇表現力・語彙力・文章理解力が高まる</p> <p>◇和歌や物語を通して美意識や感性が育つ</p> <p>➡日本語の深層に触れる学びとして評価されている。</p>
6	<p>日本文化・歴史・アイデンティティを理解するため</p> <p>◇日本人の価値観や美意識の源流を知る</p> <p>◇歴史の授業では見えにくい「人の感情」や生活を知る</p> <p>◇文化を継承し、消失を防ぐ役割</p> <p>◇日本への関心や愛着が深まった</p> <p>➡古典は文化継承の媒体として意識されている。</p>
7	<p>現代や未来に活かすための知的ストックを得るため</p> <p>◇現代の問題を考えるヒントになる</p> <p>◇判断や行動の材料として使える</p> <p>◇思考の引き出しを増やす</p> <p>◇将来、直接使わなくても人生を支える土台になる</p> <p>➡「すぐ役立つなくても、後で効いてくる学び」として理解されている。</p>
8	<p>自己理解・自己成長につながる学び</p> <p>◇自分の価値観や感性に気づききっかけになる</p> <p>◇自分と他者の違いを知り、自分を相対化できる</p> <p>◇忍耐力・挑戦する姿勢が育った</p> <p>◇学ぶことそのものの意味に気づいた</p> <p>➡古典学習が自己形成に寄与する学びとして実感している。</p>
総評	<p>生徒の回答全体から強く浮かび上がるのは、「古典は、昔を知るための教科ではなく、“今とこれからを考えるための学び”である」という共通認識です。</p> <p>多くの生徒が、過去と現在を比較することで視野を広げ、多様な価値観に触れることで思考を深め、先人の言葉や生き方から人生のヒントを得て、自分自身や社会を見つめ直す力を身につけていることが読み取れます。</p> <p>また、「役に立つかどうか」では測れない価値——思考力・感性・判断力・人間理解——が古典学習を通して育まれている点も非常に特徴的です。</p> <p>これらの回答は、古典が知識の暗記ではなく、思考・価値観・生き方を耕す学問として確かに機能していることを示しています。</p> <p>総じて、古典を学ぶ意味とは、「自分の人生をより深く、広く、主体的に生きるための土台をつくること」であると、生徒たちは語っています。</p>

N.この授業を受けた1年間の感想を述べてください。(ChatGPTで要約)

1	<p>授業の「楽しさ・印象深さ」に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「楽しかった」「毎回飽きなかった」「一番好きな授業だった」 ◇授業が斬新・ユニーク・他校ではできない内容だった ◇学校の授業らしくない自由さ・創造性があった ◇百人一首・韓非子・源氏物語・英訳など、具体的な活動が強く印象に残っている <p>→感情面での肯定的評価が非常に強く、学習体験として深く記憶に残っている。</p>
2	<p>古典に対する苦手意識の変化・克服</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇中学・高校初期は「古典が嫌い」「意味がわからない」「暗記が苦痛」という声が多かったが、探究・グループワーク・多様なアプローチを通して、「苦手意識が薄れた」「嫌いではなくなった」「面白いと思えるようになった」「もっと学びたい」と感じる生徒が多い <p>→理解以前に、態度・感情の変容が起きていることが大きな成果。</p>
3	<p>探究的・主体的な学びの経験</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇一方的な講義ではなく、「調べる」「考える」「話し合う」「発表・レポートで表現する」という流れが多かった ◇自分の興味・進路・関心に合わせて選択できた ◇「自由だが放任ではない」「方向性が示されていた」 <p>→主体的に学ぶ経験そのものが価値として受け止められている。</p>
4	<p>多角的視点・思考力の成長</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇一つの答えではなく、複数の解釈を考える姿勢が身についた ◇他者の意見を聞くことで、自分の視点が相対化された ◇昔の価値観・思想を、現代や自分自身と結びつけて考えられるようになった <p>→古典を素材として「考える力」が育っている。</p>
5	<p>教科横断・応用的学びの経験</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇古典×美術・社会・思想・英語・ウェルビーイング ◇他教科や日常と結びつける視点の獲得 ◇点だった知識が線になる感覚 <p>→古典を閉じた教科ではなく、世界とつながる学びとして経験している。</p>
6	<p>受験・実践面での効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇共通テスト対策が実践的で役立った ◇読解スピード・正答率の向上を実感 ◇レポート・意見文・志望理由書などに直結した ◇推薦・総合型選抜で活かされたという声が多数 <p>→探究型でありながら、受験とも矛盾しない学びとして評価。</p>
7	<p>言語力・表現力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇語彙が増えた ◇適切な言葉を選ぶ力がついた ◇根拠をもって自分の考えを書く力が伸びた ◇英訳・創作・レポートを通して表現の幅が広がった <p>→「国語力」が実感を伴って伸びたという自己評価。</p>
8	<p>自己理解・進路・人生観への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「なぜ学ぶのか」を考えるようになった ◇自分の将来・進路・価値観を見つめ直した ◇人生に影響を与えた授業・言葉があった ◇教師を志すようになった生徒も複数 <p>→教科を超えて、人としての成長につながったという実感。</p>
9	<p>教師・学習環境への信頼感</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇解説がわかりやすい、動画やプリントが有効 ◇フィードバックや声かけが励みになった ◇安心して発言・挑戦できる空気があった ◇「信頼されている」「見てもらえている」という感覚 <p>→学習の質を支える人間関係・環境が評価されている。</p>
総評	<p>生徒の回答全体から読み取れる最大の特徴は、古典を「知識として学んだ」のではなく、「考え方・学び方・生き方」にまで接続する経験として学んだという点です。</p> <p>多くの生徒が、古典への苦手意識を乗り越え、主体的に考え、他者と関わり、自分の言葉で表現し、学ぶことの意味そのものを問い直しています。</p> <p>また、「探究性と受験対応」「自由さと構造」「教科性と人生性」などが対立せず、同時に成立していたことが、生徒の高い満足度につながっています。</p> <p>総じてこの1年間、そして3年間の古典の授業は、「古典を教えた授業」ではなく、「古典を通して、人が育つ場をつくった授業」として、生徒一人ひとりの中に確かな痕跡を残したと言えるでしょう。</p>